2008年冬学期 数学II 演習問題(文系)第7回

担当: 小林俊行教授 TA: 及川 一誠

復習

$$ec{a} = egin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{pmatrix}, \ ec{b} = egin{pmatrix} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \end{pmatrix}$$
 に対して ,内積 $(ec{a}, ec{b})$ と 外積 $ec{a} imes ec{b}$ は次のように定義される.

$$(\vec{a}, \vec{b}) = a_1b_1 + a_2b_2 + a_3b_3, \quad \vec{a} \times \vec{b} = \begin{pmatrix} a_2b_3 - a_3b_2 \\ a_3b_1 - a_1b_3 \\ a_1b_2 - a_2b_1 \end{pmatrix}$$

外積の性質

- $2. \vec{a} \times \vec{b}$ は \vec{a} および \vec{b} に直交する.
- $3. \{\vec{a}, \vec{b}, \vec{a} \times \vec{b}\}$ は右手系をなす.

問 1.
$$\vec{e}_1=egin{pmatrix}1\\0\\0\end{pmatrix},\,\vec{e}_2=egin{pmatrix}0\\1\\0\end{pmatrix},\,\vec{e}_3=egin{pmatrix}0\\0\\1\end{pmatrix}$$
 とするとき、次が成り立つことを示せ.

$$\vec{e}_1 \times \vec{e}_2 = \vec{e}_3, \quad \vec{e}_2 \times \vec{e}_3 = \vec{e}_1, \quad \vec{e}_3 \times \vec{e}_1 = \vec{e}_2.$$

問 2.
$$\vec{u} = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix}, \vec{v} = \begin{pmatrix} 4 \\ 5 \\ 6 \end{pmatrix}$$
 とするとき、

- (1) 内積 (\vec{u}, \vec{v}) , 外積 $\vec{u} \times \vec{v}$ を計算せよ.
- (2) \vec{u} と \vec{v} のなす角を α とするとき $\cos \alpha$, $\sin \alpha$ を求めよ.
- (3) \vec{u} と \vec{v} の張る平行四辺形の面積を求めよ.

問 3. 3 次元ベクトル \vec{u} , \vec{v} , \vec{w} に関して以下の等式を証明せよ.

- $(1) \ \vec{u} \times \vec{v} = -\vec{v} \times \vec{u}$
- (2) $\vec{u} \times \vec{u} = \vec{0}$
- (3) $(\vec{u} \times \vec{v}, \vec{w}) = (\vec{v} \times \vec{w}, \vec{u}) = (\vec{w} \times \vec{u}, \vec{v})$

- 問 4. \vec{u}, \vec{v} を $\vec{0}$ でない 3 次元ベクトルとするとき , 以下の (1), (2) を証明せよ.
 - (1) (内積) $(\vec{u}, \vec{v}) = 0$ となる必要十分条件は \vec{u} と \vec{v} が直交することである.
 - (2) (外積) $\vec{u} \times \vec{v} = \vec{0}$ となる必要十分条件は \vec{u} と \vec{v} が平行, すなわち, $\vec{u} = t\vec{v}$ となる 0 でない実数 t が存在することである.

問 5.
$$\vec{u}=\begin{pmatrix}u_1\\u_2\\u_3\end{pmatrix},\,\vec{v}=\begin{pmatrix}v_1\\v_2\\v_3\end{pmatrix},\,\vec{w}=\begin{pmatrix}w_1\\w_2\\w_3\end{pmatrix}$$
 を $\vec{0}$ でない 3 次元ベクトルとし, \vec{u} と \vec{v} は平行でない ものとする.

- (1) \vec{w} が \vec{u} , \vec{v} いずれにも直交するための条件を (w_1, w_2, w_3) に関する方程式として) 書き表せ.
- (2) (1) で求めた連立一次方程式を解くことによって, \vec{w} は

$$\vec{w} = t(\vec{u} \times \vec{v})$$
 (t は実数)

と表せることを示せ.

問 6.
$$n$$
 次元ベクトル $\vec{u}=\begin{pmatrix}u_1\\u_2\\\vdots\\u_n\end{pmatrix},\, \vec{v}=\begin{pmatrix}v_1\\v_2\\\vdots\\v_n\end{pmatrix}$ に対して,その内積 (\vec{u},\vec{v}) とノルム $|\vec{u}|$ を

$$(\vec{u}, \vec{v}) := u_1 v_1 + u_2 v_2 + \dots + u_n v_n$$

 $|\vec{u}| := (u, u)^{\frac{1}{2}} = \sqrt{u_1^2 + u_2^2 + \dots + u_n^2}$

と定義するとき,次の等式を証明せよ.

(1)
$$(\vec{u}, \vec{v}) = \frac{1}{2}(|\vec{u}|^2 + |\vec{v}|^2 - |\vec{u} - \vec{v}|^2)$$

(2)
$$|\vec{u} + \vec{v}|^2 + |\vec{u} - \vec{v}|^2 = 2(|\vec{u}|^2 + |\vec{v}|^2)$$

問 7. 問 6 の (2) で述べた等式は中線定理と呼ばれる. n=2 の場合に , これが何を意味するか , 平 面幾何の立場から考察せよ.